

い ますぐはじめる 現場の生産性向上

中小建設企業の働き方改革

日本コンサルタントグループ
建設産業研究所

菅原 政郎



④ 時間管理の定着化(1)

第4回と第5回では、建設現場の「時間管理の定着化」をテーマとして本連載の結びとする。

私が提言しているのは「1時間かかる作業を40分にできないか」ということではない。この実現のためには、経験や知識の蓄積、技術者の長期的育成が必要で、長い期間と作業項目ごとの改革が必要になる。

私の提言は「今の実力でも1時間で終わる作業に1時間20分かかっていないか」ということである。

(2) 施工写真・測定データの整理、報告書の作成が当日にできないー作業当日に済ませないと思いつ出すのに時間がかかる

(3) 手配漏れを起すー現場のフォローのために別の対策を考え、手配を行う必要がある

(4) 集中してやるべき検討業務の途中で作業員に呼び出され、業務の中断を繰り返すー思考を中断した結果、考え直しになる、再開までに余計な時間がかかる

このようなことが、現場での後工程へ影響を与える。つまり「時間の利息」が蓄積し現場監督の首が回らなくなる。「今の実力でも1時間で終わる作業」をきちんと1時間で終わることができれば十分な「生産性の向上」は可能。その実現は比較的容易ではないだろうか。

次に、先ほどの「時間の利息」について図を参考にしながら紹介する。施工管理タイプは大きく2種類ある。指示に時間(手間)をかける「計画重視の施工管理」、確認・是正に時間(手間)をかける「確認重視の施工管理」である。

「時間の利息」に苦しめない

以下、建設現場での問題行動の例を4つ取り上げる。

(1) 施工写真を撮影すべき時刻に現場に行けないー結果、撮影チャンスを逃す、現場を何回も往復する

「確認重視の施工管理」である。図で示すように、確認重視の施工管理タイプほど、対応が後手に回るため「時間の利息」が蓄積し、業務に費やすことができる時間が減少する。以下は、過去に実施した工程に関するアンケート結果の傾向である。

(1) 「所長」「主任/係員」とも竣工時が最も忙しい。

(2) 「所長」は次に着工時が忙しい。中間時は落ち着いている

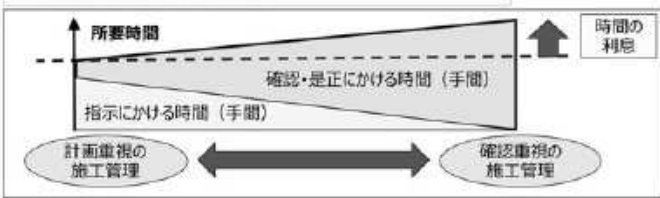
(3) 「主任/係員」は次に中間時が忙しい。着工時は落ち着いている

「時間の利息払い」に苦しむ、典型的な現場運営

先手を打つ取り組み次第で「時間の利息払い」に苦しめない現場運営は可能

これは「時間の利息払い」に苦しむ、典型的な現場運営の方法といえる。先手を打つ取り組み次第で、「時間の利息払い」に苦しめない現場運営は可能である。

施工管理のタイプと所要時間



施工管理のタイプの改善可能性

「それができれば苦労(はしない)というのは正当か？」

建設会社へのアンケート結果の傾向

- ・「所長」「主任/係員」とも竣工時が最も忙しい
- ・所長は次に着工時が忙しい。中間時は落ち着いている
- ・主任/係員は次に中間時が忙しい。着工時は落ち着いている

建通新聞 2021年3月3日(水)

い ますぐはじめる現場の生産性向上 中小建設企業の働き方改革

④時間管理の定着 (1)